平成30年度
小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業

1 目的

札幌市内の小規模企業が行う実用化・事業化の可能性が高い新製品・新技術開発や開発の前段階の取り組み（試験、試作、調査等）、後段階の取り組み（販路開拓・拡大）を支援することによって、小規模企業の付加価値向上を促進するとともに、市内ものづくり産業の振興を図ることを目的としています。

2 補助対象者

下記の要件をすべて満たす小規模企業者

(1) 札幌市内に本社を有していること

(2) 設立後1年以上経過し、事業を継続して実施する見通しがあること

(3) 事業を実施するための経営資源、人材等を有していること

【小規模企業とは】

業　種	常時使用する従業員
(1) 製造業、建設業、運輸業、その他の業種((2)を除く)	20人以下
(2) 卸売業、サービス業、小売業	5人以下

3 補助対象事業

「金属・機械」、「食」や「環境・エネルギー」、「健康福祉・医療」、「IT」などの“ものづくり”に関する以下の何れかの取り組み

■開発の前段階の取り組み（試験、試作、調査等）　■新製品・新技術開発の取り組み

■開発の後段階の取り組み（販路開拓・拡大）

4 補助金額

補助対象経費の2／3以内、上限額200万円

5 補助件数

5件程度

（平成30年度採択案件）

・チャットツール上のフロー情報をストック情報に変換し活用するためのサービス開発（株式会社調和技研）

・駐車場での「車両誤発進対策安全車止め」の製品化事業（株式会社白石ゴム製作所）

・超小型モビリティー認定制度対応車両の開発（株式会社Will-E）

・労働中の体調管理を目的とした深部体温計試作品のコスト削減（株式会社ケイオス）

・都市型屋上養蜂ハチミツを使ったスキンケア製品開発（株式会社Savon de Siesta）

・ビーツの機能性を生かした飲料の開発と販売（株式会社札幌アンチエイジングラボラトリー）

・水の機能性による葉野菜の成長促進技術開発事業（株式会社レドックステクノロジー）

6 補助対象経費

本事業実施に係る以下の経費

■人件費※1　■旅費　■原材料・消耗品費　■通信・運搬費　■機器リース費　■機器購入費※2

■施設及び設備等賃借料　■外注費（調査・分析・加工等）　■出展費

■その他本事業の遂行に必要と認められる経費

※1 人件費については補助対象経費総額の1／2以内かつ150万円を限度とする

※2 機器購入費については補助対象経費総額の2／3以内かつ200万円を限度とする

7 募集期間

平成30年5月14日～6月13日

8 申請の受付・問い合わせ

一般財団法人さっぽろ産業振興財団　販路拡大支援部

〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1

TEL：011-820-2062　URL：http://www.sec.or.jp/other/2009.html

※平成31年度事業詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

健康と美容に、道産食材を

株式会社 札幌アンチエイジングラボラトリー

●所在地／札幌市北区北21条西12丁目2　北大ビジネス・スプリング102
●TEL／011-776-7505　●FAX／011-776-7539
●代表者／代表取締役　森田 祐二　●設立／2016（平成28）年1月27日

健康や美容に対するさまざまな効果が期待されているビーツの研究と商品開発を手掛けるほか、アンチエイジング、健康、医療などに関する様々や分野で講演やコンサルティングを行う。

ビーツの機能性を生かした飲料の開発と販売
～有効成分をまるごと摂取できて飲みやすいビーツジュース～

口に入れやすい風味を求めて

江戸時代に外国から移入したとされるビーツ（赤ビート）は砂糖ダイコンの仲間で、鮮やかな赤色が特徴的。健康に良い食材であることは以前から知られているが、特有の土臭さが敬遠され、加工品への利用は進んでいなかった。藤女子大学では、長年にわたってビーツの機能性について研究し、加工技術の開発を大きく進歩させた。そこで、この研究成果を活用し、ビーツの有効利用を試みた。

商品化への最大の難関は、ビーツに含まれるゲオスミンという臭い成分の対策。この成分をマスキングして「臭いを隠す」手法を確立した。また、ビーツの味や臭いが産地に影響されることも判明し、道内に複数ある生産者を訪ね歩き、風味を確認し、甘味が強く臭みが少ない石狩地方産を選択。加熱温度を厳密に調節したのち、ビーツをまるごと絞ることにより、含有している有効成分を無駄なく摂取できるジュースが完成した。

老化を防ぐスーパーフード

食物繊維やオリゴ糖など健康に良い成分を多く含むビーツ。特に、赤色色素のベタレインは、アンチエイジングには不可欠な抗酸化作用や抗糖化作用など、多様な機能性を有する注目の成分である。水溶性のベタレインは胃と腸からすばやく吸収され、体内で安定して移動することから、アントシアニンなどの他の抗酸化物質よりも有効性が高い。また、硝酸塩の含有量も多く、一酸化窒素の生成が促進されて血管が拡張することにより、血流量が増加し、運動パフォーマンスが向上するとされている。

札幌市内で販売を予定している札幌アンチエイジングラボラトリーの商品は、1本（80㎖）に道産ビーツ約1個分のジュースと若干の酸味料だけが入っており、保存料等は無添加。今後、成分分析や臨床試験などの科学的エビデンスが蓄積されれば、機能性表示食品としての販売も期待できる。

海外からも高い関心を集める道産食材、もっと活用したい

材料探しや機器の購入、展示会への出展など、製品開発と販路開拓には多くの資金が必要です。要となるマスキング手法の開発が大きく前進し、商品化を進めることができたのも、この補助金のおかげです。

代表取締役/医師
森田　祐二

▲ベタレイン色素の赤が鮮やかなビーツ

▲根菜特有の風味はわずかで、とうきびのような甘味

▲アンチエイジングフェアJapan2018に出展

自然素材で安心の手作り石鹸

株式会社 Savon de Siesta

●所在地／札幌市中央区南1条西12丁目4-182 ASビル2階
●TEL／011-206-1580　●FAX／011-206-1581
●代表者／代表取締役社長　附柴　彩子
●設立／2011（平成23）年8月1日　●従業員数／16名
●URL／https://at-siesta.com

肌が弱い方でも毎日安心して使える手作り石鹸の製造・販売。北海道の植物から得たエッセンスを使用するなど、自然の恵みを活かした製品開発を行う。工場併設のショップでは、スキンケア商品や雑貨なども販売している。

都市型屋上養蜂ハチミツを使ったスキンケア製品開発
～地産地消で新たな魅力を発見～

地元の素材と地域の連携

石鹸の泡立ちを良くしたり、肌を保湿したりする効果があるハチミツは、石鹸の素材としてもお馴染みの材料。SAVON de SIESTAにも、以前から道産のハチミツを使用した製品はあったが、「出来る限り地元産の材料を使うこと」を理念としていることから、札幌産のハチミツを使用した石鹸「札花蜜（さっかみつ）」を開発した。

大通近郊のとあるビルの屋上に設置された巣箱から採取したハチミツを使った札花蜜は、2017年度、直営店限定で約800個を販売。徐々に生産量を増やそうとしていた矢先、このビルでの養蜂が中止となってしまった。そこで、新たな仕入先を探した結果、市立札幌大通高等学校のハチミツに出会う。同校のハチミツは、タンポポ、ライラック、バラなどいろいろな花から蜜を集めた「百花蜜」。（一社）日本はちみつマイスター協会が主催する第4回ハニー・オブ・ザ・イヤー（2018年）で最優秀賞を獲得し、“日本で一番おいしいハチミツ”の座に輝いている。

新たな個性が広がる

原料の変更に伴い、パッケージやリーフレットも一新。これまでのパッケージは、たくさんのメッセージを詰めた凝った仕様になっていたため、梱包に手間がかかり、生産性が悪かった。今回は、社員が意見を出し合い、じっくりと時間をかけてコンセプトをまとめた結果、これまでにない発想の「ごくシンプル」な仕上りに。ユニセックスなデザインで、男性ユーザーの獲得にもつながりそうだ。

この新しくなった札花蜜™は、2019年7月、直営店限定商品として販売開始予定。ハチミツに関連した雑貨などとセットにしたギフトボックス、蜂の飛行ルートに合わせたお散歩マップの作成など、いろいろな展開も考えられている。また、大通高校との連携事業で、ハチミツのさまざまな活用方法も検討されており、地域活性化という点からも注目を集めそうだ。

ミツバチが見る札幌、花と緑が増えるといいですね

原材料費や機器購入費のほかにも、人件費などのものづくりに必要な経費が幅広くカバーされ、定期的な報告会による事業の進捗状況の確認なども行われるので、製品開発にはとても効果的で、使いやすい補助制度でした。

取締役会長
附柴　裕之

▲直営ショップの奥にある製造室

▲札花蜜のパッケージ。右が現行デザイン、左が新デザイン

▲ときめきが優しく刺激されるような仕掛けも